

平成 28 年 3 月分電力需給状況

需要の概要

平成28年3月分の販売電力量は、22億7千9百万kWh時、前年比 98.5%（うるう年の影響を補正すると97.2%）となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、3月上旬の気温が高めに推移したことによる暖房需要の減少などから、前年比 99.9%（うるう年の影響を補正すると 97.2%）となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、電灯と同様、3月上旬の気温が高めに推移したことによる暖房需要の減少などから、前年比 95.5% となった。

産業用の「大口電力」は、化学や機械が前年を上回ったものの、繊維・紙・パルプおよび鉄鋼が前年を下回ったことなどから、前年比 99.2% となった。

うるう年の影響について

・電灯などの特定規模需要以外の需要は、2月29日が3月分の検針期間に含まれるため、昨年より1日分多くなり、この影響が含まれている。

・特定規模需要は、2月29日が2月分の検針期間に含まれるため、3月分への影響はない。

需要実績

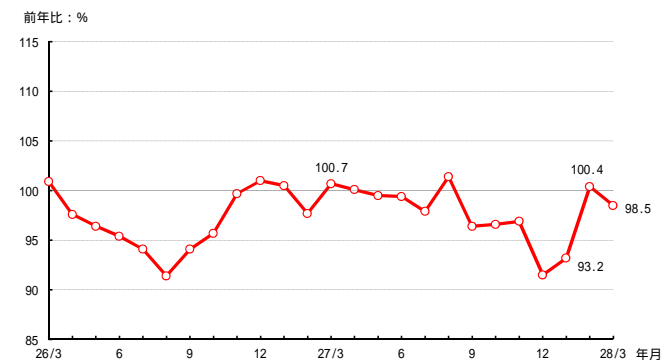
		(百万kWh時、%)	
		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	885	[97.2] 99.9
	電 力	140	[94.4] 97.1
	計	1,025	[96.8] 99.5
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	456	95.5
	産業用電力	798	98.9
	うち大口電力	(627)	(99.2)
	計	1,254	97.6
販売電力量 計		2,279	[97.2] 98.5
融 通 等		121	127.8

注. []内はうるう年の影響を補正した前年比
(本年3月分から1日分相当を除いた電力量と昨年3月分の電力量を比較し算出)

大口電力の主な産業別内訳

		(百万kWh時、%)		
	電力量	前年比		
		28/3月	28/2月	28/1月
織 維	29	92.2	100.6	107.8
紙・パルプ	91	94.3	102.3	102.5
化 学	93	104.5	105.8	100.8
鉄 鋼	79	99.1	105.3	97.4
機 械	157	100.9	103.6	97.3
そ の 他	178	98.9	101.3	97.8
合 計	627	99.2	103.1	99.2

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



(参考2) 4 県都平均気温

	28/2月				28/3月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
	実 績	6.5	8.7	7.3	7.5	11.1	10.4	11.3
平年差	0.7	1.9	0.1	0.9	2.9	0.6	0.3	1.2
前年差	1.6	1.5	1.5	0.6	3.5	0.2	0.6	0.8

供給の概要

- ・原子力は、前年同様、全号機が停止している。
- ・水力は、渇水の影響により、前年比 71.4%となった。
- ・火力は、総需要の減少により、前年比 97.7%となった。

供給実績

		(百万kWh時、%)	
		電力量	前年比
原子力	(0)	0	-
水 力	(10)	249	71.4
火 力	(81)	2,044	97.7
新工ネ	(9)	237	142.8
発受電計	(100)	2,530	97.0
その他		4	-
供 給 計		2,526	97.1

出水率 84.6%
(27年3月出水率 130.6%)

注1.()内は構成比

注2. 四捨五入の関係で、合計が合わないことがある

(参考3) 各県別の需要状況

		(百万kWh時、%)						
		徳 島	高 知	愛 媛	香 川			
販売電力量 計	(99.5)	538	(97.6)	363	(98.3)	771	(98.3)	607

注.()内は前年比